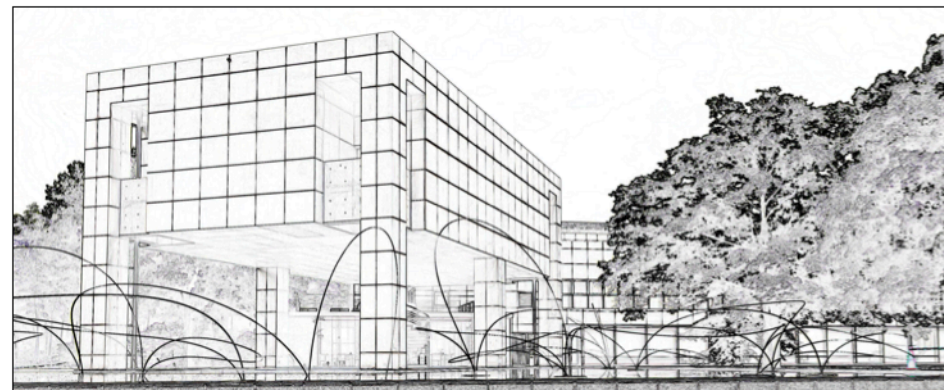


群馬県立近代美術館は、群馬県明治百年記念事業における群馬の森公園構想の一環で計画され、県立としては二番目に誕生した近代美術館である。設計は高崎市在住の実業家井上房一郎氏の推薦で磯崎新氏が担当し、当美術館は彼の代表作の一つとして知られるとともに、1975年には日本建築学会賞を受賞している。その特徴の一つは、一辺12mの立方体フレームが連なる構成が、建築の主要構造として、また空間の基準ユニットとして見え隠れすることであろう。1974年に竣工し、1994年と1998年に増築することで変化するニーズへの対応も果たしている。見学会では、解説役として星和彦氏（前橋工科大学学長）を迎え、ミニシンポジウムも企画している。奮ってのご参加をお待ちしております。

## 群馬県立近代美術館

磯 崎 新



- 主催 日本建築学会関東支部（群馬支所）  
日時 2017年9月30日（土）9：40～11：00 美術館見学  
11：00～11：30 ミニシンポジウム  
※9：30に1階エントランスロビー集合  
会場 群馬県立近代美術館（群馬県高崎市綿貫町992-1 群馬の森公園内）  
講師 星和彦（前橋工科大学 学長）  
定員 40名（申込先着順）  
参加費 無料（美術展観覧料は各自負担）

見学会ご参加の方は、[こちらのお申込みフォーム](#)からお申込みください。